



キングヨとメダカを、いっしょに飼ってもいいの

いっしょに飼える

小型のキングヨで数が少なければ、同じ水そうでも飼えます。ただし、水そうの大きさによって、ちがってきます。また、キングヨとメダカの両方のえさを、じゅうぶんあたえておくことが、大切です。もし、メダカがキングヨに食われてしまったり、メダカのおびれ、せびれなどに、キングヨのかみつき傷が多く見られるようならば、水そうを分けましょう。

メダカとキングヨ

メダカは、オスよりメスのほうが、少し大きいのですが、どちらもおよそ4センチメートルていどの大きさです。いちばん適した水温は、20前後です。川水の表面近く、小さなこん虫や、ミジンコなどの小動物を主食としています。

キングヨは、大きく育つと体長10～15センチメートルにもなります。メダカより暖かい水を好みます。23～25ぐらいが最適です。しかし、生活できる温度の範囲は広く、0～35までです。イトミミズ、アカムシなどの小動物が大好きです。

メダカとキングヨでは、体の大きさや、適した水温、えさなどに、少しちがいがあります。けれど、飼ううえで、いちばん大切な水温は、あまりちがいがありません。キングヨのほうが、温度変化には強いので、メダカに合った水温で飼うのがいいでしょう。

卵は、親とは別の水そうに

メダカでもキングヨでも、卵が生まれたときは、親とは別の水そうに移しかえて、世話しなくてはなりません。いっしょにしておくと、親が卵などを食べてしまいます。

(監修・杉浦 宏)

